

2025 年の医療需要推計

医療需要推計について

- 将来の医療需要を推計するため、国が NDB 等のデータに基づき開発した「地域医療構想策定支援ツール」が都道府県に配布された。
- 同ツールでは、2025 年における各医療機能別の医療需要が、患者住所地及び医療機関所在地をベースに二次医療圏ごとに算出され、必要病床数等が表示される。

患者住所地ベース	○ 2013 年度の患者住所地における医療需要をベースに 2025 年度の推計人口で算出した医療需要
医療機関所在地ベース	○ 2013 年度の医療施設における医療供給をベースに 2025 年度の推計人口で算出した医療需要 ※ 現行の患者の流出入を推計に反映

- 病床機能別の推計のうち、「高度急性期機能」、「急性期機能」、「回復期機能」の医療需要の推計方法は以下の通り。

構想区域の 2025 年度の医療需要 = [当該構想区域の 2013 年度の性・年齢階級別の入院受療率 × 当該構想区域の 2025 年の性・年齢階級別推計人口] を総和したもの

- また、「慢性期機能」の医療需要推計については、2013 年度の NDB のレセプトデータによる療養病床の入院患者数のうち、医療区分 1 の患者の 70%を「在宅医療等」で対応する患者数として見込んだ上で、その他の入院患者数については、入院受療率の地域差縮小を織り込み、パターン A、パターン B のそれぞれについて算出。

※ パターン A：全ての構想区域が全国の最小値（県単位）まで入院受療率を低下する。

パターン B：構想区域ごとに入院受療率と全国最小値（県単位）との差を一定割合解消させることとするが、その割合については全国中央値（県単位）にまで低下する割合を一律に用いる。

なお、一般病床の障害者・難病患者（障害者施設等入院基本料、特殊疾患病棟入院基本料及び特殊疾患入院医療管理料を算定している患者）については「慢性期機能」の医療需要とする。

- 「在宅医療等」については、2013 年度の療養病床の入院患者数のうちの医療区分 1 の患者の 70%の他、一般病床の入院患者数（回復期リハビリテーション病棟入院の算定患者数は除く）のうち医療資源投入量が 175 点未満/日の患者数、在宅患者訪問診療料の算定患者数、介護老人保健施設の施設サービス受給者数に基づき推計。また、内数として「訪問診療」の医療需要のみ再掲。

- 同ツールにおいては、病床機能別の他、疾患別にも推計が可能。

全国の 2025 年の医療需要の参考値

出典：「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会 第 1 次報告」

既存病床数 134.7 万床	2025 年の必要病床数（目指すべき姿） 115~119 万床			
	高度急性期 13.0 万床	急性期 40.1 万床	回復期 37.5 万床	慢性期 24.2~28.5 万床

- 「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会 第 1 次報告」において、医療需要の増加による必要病床数の増加が見込まれたのは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、沖縄県のみ。

医療需要の推計結果

【患者住所地ベース】

2025年必要病床数 22,147.8床	=	許可病床数 (2013年10月1日現在) 26,984床	-	4,836.2床 (17.9%減)
-------------------------	---	------------------------------------	---	-------------------

【医療機関所在地ベース】

2025年必要病床数 21,754.9床	=	許可病床数 (2013年10月1日現在) 26,984床	-	5,229.1床 (19.4%減)
-------------------------	---	------------------------------------	---	-------------------

※ 上記の必要病床数に含まれる慢性期機能の医療需要推計については、パターンBを採用した場合の数値である。

◀病床機能別内訳及び在宅医療等の医療需要▶

	総病床数 (床)	高度急性期 (床)	急性期 (床)	回復期 (床)	慢性期 (床)		在宅医療等 (人)		(再掲) 訪問診療 のみ(人)
					パターンA	パターンB	パターンA	パターンB	
患者 住所 地	22,147.8	2,348.5	7,694.3	7,295.7	4,519.1	4,809.4	30,885.8	30,618.7	13,187.5
医療機 関所 在 地	21,754.9	2,178.1	7,444.7	7,117.2	4,702.8	5,015.0	31,634.3	31,347.1	13,786.2
流 出 入	▲392.9	▲170.4	▲249.6	▲178.5	183.7	205.6	-	-	-
充 足 率	98.2%	92.7%	96.8%	97.6%	104.1%	104.3%	-	-	-

※ 流出入については、「医療機関所在地」から「患者住所地」を引いた差分とし、正の場合は流入数を、負の場合は流出数を示す。充足率については、「医療機関所在地」を「患者住所地」で除したものであり、現在の患者の流出入の状況を勘案して推計される必要病床数が、患者所在地ベースの医療需要（他圏域への流出が全くない場合の医療需要）のどの程度を満たすのかについての指標である。

【参考】2014年病床機能報告における「現時点の医療機能」の集計結果（集計率は病院97.5%、有床診療所83.6%）

	総病床数 (床)	高度急性期 (床)	急性期 (床)	回復期 (床)	慢性期 (床)	無回答 (床)
病床機能 報 告	25,578	2,978	13,771	1,655	6,582	592

患者流出入を踏まえた都道府県間調整

- 地域医療構想策定ガイドラインにおいては、患者住所地で推計した医療需要をベースに、施設所在地をベースに推計した医療供給数との間に乖離がある場合に、都道府県間の協議により、流出入の調整を行うこととしている。
- 現在、国において、協議開始時期や協議内容、協議が調わなかった場合の対応方法等、具体的な都道府県間調整方法が検討されている。

2025年度の医療需要推計（二次医療圏別）

二次保健医療圏	医療機能	許可病床数 (2013.10月) a	2025年度必要病床数		差引(2025年度)		増減率(2025年度)	
			患者 住所地 ベース b (※1)	医療機関 所在地 ベース c (※1)	患者 住所地 ベース d=b-a (※2)	医療機関 所在地 ベース e=c-a (※2)	患者 住所地 ベース f=d/a (※2)	医療機関 所在地 ベース g=e/a (※2)
水戸	高度急性期	(一般病床)	423	621				
	急性期	4,695	1,219	1,626	-1,799	-938	-38.3%	-20.0%
	回復期		1,253	1,510				
	慢性期	(療養病床)	995	665	721	-330	-274	-33.1%
	小計	5,690	3,561	4,478	-2,129	-1,212	-37.4%	-21.3%
日立	高度急性期	(一般病床)	201	172				
	急性期	2,154	678	619	-502	-651	-23.3%	-30.2%
	回復期		773	713				
	慢性期	(療養病床)	734	397	347	-337	-387	-46.0%
	小計	2,888	2,049	1,850	-839	-1,038	-29.1%	-35.9%
常陸太田・ひたちなか	高度急性期	(一般病床)	306	150				
	急性期	2,040	1,001	673	208	-478	10.2%	-23.5%
	回復期		942	738				
	慢性期	(療養病床)	671	583	551	-88	-120	-13.0%
	小計	2,711	2,832	2,112	121	-599	4.5%	-22.1%
鹿行	高度急性期	(一般病床)	211	70				
	急性期	1,427	665	374	102	-541	7.1%	-37.9%
	回復期		653	443				
	慢性期	(療養病床)	609	395	379	-214	-230	-35.2%
	小計	2,036	1,924	1,265	-112	-771	-5.5%	-37.9%
土浦	高度急性期	(一般病床)	219	236				
	急性期	1,915	677	687	-380	-350	-19.9%	-18.3%
	回復期		638	642				
	慢性期	(療養病床)	437	445	365	8	-72	1.9%
	小計	2,352	1,980	1,930	-372	-422	-15.8%	-17.9%
つくば	高度急性期	(一般病床)	255	436				
	急性期	2,765	874	1,209	-926	-225	-33.5%	-8.1%
	回復期		711	895				
	慢性期	(療養病床)	603	689	949	86	346	14.2%
	小計	3,368	2,528	3,489	-840	121	-24.9%	3.6%
取手・竜ヶ崎	高度急性期	(一般病床)	377	307				
	急性期	3,314	1,270	1,278	-586	-487	-17.7%	-14.7%
	回復期		1,081	1,242				
	慢性期	(療養病床)	646	890	877	244	231	37.7%
	小計	3,960	3,618	3,704	-342	-256	-8.6%	-6.5%
筑西・下妻	高度急性期	(一般病床)	194	54				
	急性期	1,276	654	336	287	-371	22.5%	-29.0%
	回復期		716	515				
	慢性期	(療養病床)	1,004	451	552	-553	-452	-55.1%
	小計	2,280	2,014	1,458	-266	-822	-11.7%	-36.1%
古河・坂東	高度急性期	(一般病床)	163	132				
	急性期	1,447	656	643	-100	-252	-6.9%	-17.4%
	回復期		528	419				
	慢性期	(療養病床)	252	295	274	43	22	17.0%
	小計	1,699	1,642	1,469	-57	-230	-3.4%	-13.5%
総計	高度急性期	(一般病床)	2,349	2,178				
	急性期	21,033	7,694	7,445	-3,695	-4,293	-17.6%	-20.4%
	回復期		7,296	7,117				
	慢性期	(療養病床)	5,951	4,809	5,015	-1,142	-936	-19.2%
	総計	26,984	22,148	21,755	-4,836	-5,229	-17.9%	-19.4%

*単位以下を四捨五入していることから、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

※1：2025年度の必要病床数における慢性期については、パターンBを採用した場合の数値。

※2：許可病床数は一般病床、療養病床の2区分であるのに対し、2025年度必要病床数は高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4区分であり、双方の区分が異なることから、差引欄、増減率欄の算出にあたっては、2025年度必要病床数欄の数値のうち高度急性期、急性期、回復期の数値の合計値を一般病床の数値とみなし、慢性期の数値を療養病床の数値とみなして算出。